

全 青 中 だ よ り

VOL. 4

(平成23年6月号)

～スピリット・きりひらけ次世代に繋がる青年中央会～



全国中小企業青年中央会会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。平成23年3月11日に東北地方を中心とした地震が発生し、多くの方々が犠牲者となりました。お亡くなりになられました方々には心からお見舞いを申し上げます。まだまだ被災地で不自由な生活、また避難生活をされておられる方も多く、全国中小企業青年中央会としてまた個人として力になれる手段を考えております。時間の経過と共にメディアや情報機関も少し情報量が落ちてきている様な気がします。

今回の全青中でよりは東日本大震災で被災県の皆さんにメッセージを募りました。大勢の方々からメッセージを頂く事が出来ました。有り難う御座います。全国各地から寄せられたメッセージを拝見して『私ももっと頑張らなくては』と勇気付けられるところがありました。是非一人でも多くの会員さんにお読み頂けたら幸いです。

堀井 聖介

メッセージ紹介

(順不同)

このたびの東日本大震災にて被災された地域の皆様、関係の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

神戸の震災でマンションが倒壊した友人と、震災三ヵ月後に「励ます会」を開催しました。友人をみんなで励まし、盛り上がり飲み会は終了。その帰り道のタクシーの中で友人が「頑張ってる声も嬉しい・人の人情も身にしみた・・・でも何か違うんだ・・・今はただ、夢と希望が欲しい」そう呟いた横顔を、未だに忘れることが出来ません。

東日本大震災後、時間が経つにつれて復旧は徐々に進んでいき、衣食住は改善されていくと思いますが、これから最も必要なのは「夢」「希望」「笑顔」ではないでしょうか？ 私たちは普通の生活を謳歌し、いかに普通が素晴らしいかを再認識しましょう。

そして被災した友人達に、最近起きた一番面白い出来事を話しましょう。

再会が可能ならば、一緒に夢と希望を多いに語り、飲み明かしましょう、勿論東北の地酒で乾杯しましょう。

一生懸命に働いて、利益を出して、出来るだけ多くの義援金を寄付しましょう。

被災した方々に、少しでも多くの「夢」「希望」「笑顔」を届ける努力をしましょう。

そうすることが一番の励ましになると、北海道中小企業青年中央会は信じております。

六月の京都 十一月の青森 そして機会があればススキノで、元気な笑顔で再会できることを、楽しみにしております。

北海道中小企業青年中央会
会長 上杉 浩信

3月11日に発生した大地震は、戦後最大の国難ともいべき災禍をもたらした。M9.0の地震に伴う津波により死者・行方不明者が2万人を超え、震災の中を生き延びた方々の多くは今なお避難生活を余儀なくされている。

青森県においては、死者3名、行方不明者1名、建物全壊が272棟、半壊が970棟と、太平洋に面する人口約25万人の八戸市を中心に甚大な被害を受けた。被害額は831億円を超え（5月6日現在）、さらに震災に起因する解雇が800人を超えるなど、経済並びに雇用情勢の悪化が深刻さを増している。

全国有数の漁港として知られる八戸市の漁業は、漁船の被害件数は約400件、堤防や市場もほぼ全壊するなどし、壊滅的なダメージを受けた。さらに、基幹産業である水産加工業も工場の全壊や、機械設備の全損などの被害に数多く見舞われ、「港町はちのへ」復興への道のりは険しい。

また、一次産業への就業率が高い青森県において、福島原発事故による農作物への風評被害は予想以上に大きく、輸出向け農作物及び加工品などは、返品若しくは買い手がつかないなどの事態が散見される。

さらに、昨年12月に悲願の東北新幹線が全線開業したことを受け、数多くの全国規模のコンベンションが計画されていたが、開催が中止・延期された事案が多く、これから表面化するであろう経済的損失の額も計り知れない。

青森県が復興するためには、東北新幹線全線開業に伴うデスティネーションキャンペーンの実施、並びに消費者や旅行客の「自粛の自粛」等があげられる。これらを通じ、東北に賑わいと活力が創出され、経済や消費が正常化されることを切に願う。このことから、本年11月に青森市で開催される全国講習会も復興支援の一翼を担うことを全国の会員皆様にはご認識頂き、今後も温かい励ましと、力強いご支援を切望する。

全国中小企業青年中央会副会長
青森県中小企業青年中央会会長
太田 竜生

この度の東日本大震災より、被災されました皆様に対しまして心よりお見舞い申し上げます。

被災地の青年中央会のメンバーには、避難生活を余儀なくされている方もいると思います。多くの物や大切な人を失い、その悲しみが癒えぬまま、復興へ歩み出さなければならぬ現地の方々には「がんばって下さい！」の言葉でさえ軽薄になり、伝えたい思いがなかなか表現できません。

しかし、今、日本中が被災地を応援しています。ボランティアをする者、義援金を寄付する者、亡くなった方々に祈りを捧げる者、被災者を元気づけようとする者、我々も様々な形で協力したいと思っています。

この思いがある限り、必ず復興は成し遂げられます。そして、絆を基に復興した町は日本の誇りとなり、笑顔が溢れる町になると信じています。出来ることは最大限協力します。力を合わせ未来に向かって歩みましょう。

秋田県中小企業青年中央会
会長 進藤 政弘

幾多の苦難を乗り越えて先人達が築き上げた故郷を、一瞬に奪い去ってしまったこの度の大地震と大津波は、大自然の無慈悲、残酷さを思い知らされずにはいられません。「努力は決して裏切らない」と思って生きて来ましたが、それは儚い妄想のように思えてなりません。

更に、福島県では、追い討ちをかけるような原発問題。先の見えない不安と風評被害に、福島の農林水産業、製造業、サービス業等はどうなってしまうのでしょうか。

それでもこの、家もない、家族もない、仕事もない状況から、我々は立ち上がっていかねばなりません。

「夢は決して逃げない。逃げるのはいつも自分」私の好きな言葉ですが、困難は成長のチャンスです。前向きに乗り越えましょう。

全国各地の仲間達からの励ましのお言葉やご支援、行政はじめ関係機関の懸命なご努力に心から敬意を表しますとともに、被災地の一日も早い復旧、振興を心からお祈り申し上げます。

福島県中小企業青年中央会
会長 廣川 寛

東日本大震災により、犠牲となられました方々に、謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災地域に、工場や支店、営業所等をお持ちの皆様におかれましては、当該施設や従業員、そのご家族の皆様に対し、心よりお見舞い申し上げます。

さて、被災地の中では、比較的被害の少なかったといわれる茨城県ですが、それでも太平洋沿岸部では最大6メートルの津波が押し寄せ、家屋や店舗、工場の損壊、停電や断水、レールの歪曲や駅舎の崩壊による鉄道の運行休止、地割れや陥没、液状化による高速道路、一般道の交通規制に加え、六角堂の消失、水戸東照宮や鹿島神宮の鳥居、好文亭や弘道館、真壁の重要伝統的建造物群等の文化財被害が、全国最多の108件であったこと等が報告されています。さらに、福島第一原子力発電所の事故による風評被害の影響は、いばらきブランドの確立と観光立県を目指す本県にとって、今なお大きな壁となって立ちはだかつており、会員青年部の中には、極めて厳しい経営を強いられている事業所も見受けられます。

私は、このたびの震災を通じて、これまで以上に家族や地域の絆を大切にし、共に助け合い、協力し合って、乗り越えようとするのが、重要になっていくのではないかと感じています。先日開催した第1回役員会でも、今、自分達に何ができるのか、何をすべきなのか等について、議論を交わしました。

現在も、被害が深刻な被災地では、1万人以上の被災者の安否が不明である等、私たちの思いとは逆に、日が経つにつれて被害が拡大し続けています。

この終焉の見えない災害の中で、本年度、本県青年部にできることは何かを問いかけながら活動していきたいと考えています。また、全国、他都道府県の青年中央会と協力し、この難局を乗り切りたいと考えています。是非、皆様のお役にたつことができること等あれば、ご一報いただきたいと思っております。

茨城県中小企業青年中央会
会 長 笠 倉 勉

この度、東日本大震災により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

計り知れない大災害に襲われ、心身共に甚大な痛みを負っていることと存じます。皆様の日々の不安、そして将来への不安を思いますと心が痛み、無力感を覚えるばかりです。我々にできる募金や被災地の物産等の消費活動は積極的に行いたいと思っております。また復興の日まで、きちんと心を寄せて見守りたいと強く思っています。

皆様に対して「がんばっていただきたい」とお祈りすることしかできませんが、是非とも中小企業経営者としての粘り強さを忘れることなく、復興の日まで、この最大の苦境を乗り越えていただきたく、心を込めてお祈り申し上げます。

群馬県中小企業団体青年協議会
会 長 片 山 順

千葉県中小企業団体青年中央会 代表幹事の山口です。この度の災害に被災されました方々が、通常の生活を送られるよう応援していきたいと思います。

現在、被災地では人・物・金すべてが必要だと思います。

しかし、現地に行ってボランティアといっても、どこに行っても何ができるのか。物資を送るにも、今いったい何が必要なのか。今日は足りないけど明日はこんなに要らない。必要な物は毎日変わっていく状況だと思います。結局、義援金くらいしか出来ないのか。その義援金を誰に渡すのか。日本赤十字？被災県の自治体？被災県の中央会？

今まで、このような事態を想定していなかったことを痛感しています。

このような事態に国レベルで対応できるのは今のところ自衛隊だけのように見えます。私の会社は自衛隊援護協力会という会で自衛隊の活動を支援しています。今回の災害では、弊社の従業員が即応予備自衛官として招集がかかることとなります。微力でも皆様の力になるのではないかと考えています。

千葉県の被害状況はテレビなどの報道ではあまり触れられていませんが、太平洋側沿岸の津波被害、東京湾岸や河川湖沼周辺での液化化現象による被害があります。

千葉県中小企業団体中央会に所属している、いくつかの組合は千葉県と大規模災害時の支援協定を結んでいますが、未だに具体的な行動がとれない状態です。

また、原発に関わる風評と自粛ムードによる被害が出てきました。去年、千葉県に於いて開催されました全青中総会の会場だったホテルグリーンタワー千葉が、利用者が激減した為、7月31日に閉館することになりました。

政治・行政の対応の遅さや拙さ、マスコミの視聴率がとればばいいという身勝手さが、歯がゆいです。

千葉県中小企業団体青年中央会
代表幹事 山口 真延

このたびの東日本大震災で被災されました青年中央会（協議会）及び関係者の皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

当県も 2004 年の中越地震、2007 年の中越沖地震により甚大な被害を受け、皆様のご支援・ご協力により復興することができました。

東日本大震災で被災された地域の方々には、当青年中央会としてもできる限りの支援・協力をさせていただき、復興のお役に立てればと思います。

一日も早い復興を願っております。

新潟県中小企業青年中央会
会長 白崎 純也

このたびの震災で無念にも亡くなられた方のご冥福を謹んでお祈り申し上げます。また、被災された多くの皆様に心よりお見舞い申し上げ一日も早い復興を願っています。

連日の報道を見るにつけ、今回の被災のすさまじさが伝わってきます。その出来事をしっかりと受け止めて、将来に向けた取組を着々と進めている被災者の姿を見ると、こちらが逆に勇気づけられます。今の私たちにできることは、節電や義援金を送る程度の事ですが、今後、新しい問題が発生した際にはできる限り応援していくことを約束させていただきます。

山梨県中小企業団体青年中央会
会長 小澤 浩

3月11日の東北地方太平洋沖地震と津波により、不幸にも命を落とされた多くの方々に謹んで哀悼の意を表します。

被災された方々の中には、ご家族を亡くされた方、家屋を失われた方がたくさんいらっしゃると思いますが、悲しみを癒す間もなく、原発事故が発生し多大なご心労、ご不自由に対し、心よりお見舞い申し上げます。

昨年研修で仙台に行きましたが、途中の風景がまさかあんなことになってしまうとは思いませんでした。津波に対する恐怖感が増すばかりです。

私の住んでいる静岡でも東海大地震の危険性があります。家は、水面下0m、港からは100m、河口からも50mの距離しかありません。水産関係の仕事をしている私は、この地から離れるわけにもいかず、今後の地震にどう対応すべきか、また、海とどう向き合うべきかを考えさせられる出来事でした。

東北の皆さんは、粘り強い方が多いと聞きます。時間はかかるかもしれませんが、絶対にあきらめず、少しずつでも前に進めるよう頑張ってください。応援しています。

関東甲信越静岡ブロック中小企業青年中央会会長
静岡県青年中央会会長
田代 義泰

この度の東日本大震災により被災されました皆さまには、衷心よりお見舞い申し上げます。

また、原発の問題は今もなお予断を許さない状況の中、皆様の心中お察しします。

皆様の安全と一日も早い復旧復興を心よりお祈り申し上げます。

三重県中小企業青年中央会
会長 伊藤 竜巳

今回被災された皆様には、お見舞い申し上げますとともに亡くなられた方に深い哀悼の意を表します。

未曾有の大災害に原発事故が重なって、復興支援も思うようにいかない現状の中で、原発関係者の方々も命をかけて頑張っています。

昨年、広島で原爆資料館などを見てまいりましたが、日本は今まで数多くの困難から立ち直ってきました。

私事ですが、9年前に火災があり、自宅すべてと工場の一部が使えなくなってしまい取り壊しました。

最初の1年はどうしていいかわからない中で、青中の仲間の励ましもあって、やれるところから始めて行って、軌道に乗せられるようになりました。

時間はかかると思いますが、必ず立ち直れます。日本中、いや世界中が応援しています。心をひとつにして頑張っていきましょう！

岐阜県中小企業青年中央会
会長 西松 敦

私たちが考えている以上に、まだまだ被災地は厳しく過酷な状況にあるようで、被害を受けられた皆さまに心からお見舞いを申し上げる次第です。

今は一日も早く被災地に笑顔が戻ることを日々祈りながら、被災された皆さまがそこから立ち上がろうとする力強い姿に胸を熱くし、逆に勇気もらっています。

2007年3月に起きた石川県の能登半島地震では日本全国からたくさんの応援をいただきました。私たちも一緒にこの未曾有の災害を乗り越えたいと思います。

今こそ全国の青年中央会メンバー一人ひとりが勇気と行動力を持って積極果敢に立ち向かうことが、東北復興、日本経済の再生への近道です。

一人ひとりでは微力でも、みんなで力を合わせれば大きな力になるはずです。

皆で力を合わせて頑張ろう！

石川県中小企業青年中央会
会長 直江 潤一郎

3月11日（金）に発生しました東日本大震災及びその津波によって亡くなられた方々のご冥福をお祈りしますとともに、被災された全ての皆様に対して、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地域の一日も早い復興をお祈りいたします。

我々、青年中央会はみんな仲間であり、同じ青年経営者同士、深い絆で繋がっています。大事なものはこれからです。今からが本当の意味で助け合う時です。単組単位でできること、組合単位でできること、青年中央会だからこそできること、たくさんあります。共に協力し合い、共にがんばりましょう。

福井県中小企業団体青年中央会
会長 寺本 光宏

東日本大震災により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様及びご関係の方々に心より、お見舞い申し上げます。

「がんばろう」という言葉を使うことにさえ心が痛みます。今はただ、しっかりと受け止め、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げるばかりです。

全青中だからこそ出来ることが、この苦難な時だからこそ、あるのではないのでしょうか。

若い可能性の集合体である全青中が必要とされています。私達の「絆」を一層強いものにして、凛として困難に立ち向かい、新しい東日本を、そして日本を共に創造していきましょう。

島根県中小企業団体青年部連合会
会長 渡辺 学

東日本大震災に罹災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。3月11日は日本中の人々にとって一生忘れられない日になるでしょう。何も悪い事をしていない沢山の人が天災で命を奪われるとは、あまりにも惨い事だと思います。この悲しみを克服するために私たちは罹災された仲間たちに出来る限りの協力をしていかないといけないと思います。

罹災された青年中央会の皆様、遠方からではございますが皆様のお力になりたいと思っています。心から皆様の、いち早くの復旧をお祈りします。

広島県中小企業団体青年中央会
会長 丸元 圭司

この度の東日本大震災において、被害に遭われました皆様方に心よりお見舞い申し上げます。

日々、前向きに復興へと取り組む姿を拝見し、逆にこちらが元気をいただいています。

「絆 ～創造に向け一緒に"考"動しよう！～」

これは山口県中小企業団体中央会青年部の事業方針で掲げたスローガンです。

絆とは、『人と人との断つことのできないつながり。』という意味を持っています。今を乗り越え復興に向けて一緒に考動していきましょう！

山口県中小企業団体中央会青年部
部長 白木 浩一郎

「心ひとつに」

この度の東日本大震災により被災されました青年中央会会員の皆様、ご家族並びに関係者の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

報道で流れるあまりにも悲しい被災地域の現実に、被災された皆様方の心情を思うと胸が痛みます。

しかし、過酷な状況下でありながらも、復興へ向けて手を取り合って過ごしておられる皆様方の姿を見るにつけ、西日本の我々も、出来ること全てを行動に移したいと心を新たにしています。

東日本の復興のため、日本全体が手を取り合い、頑張っていくことが重要です。西日本の中小企業者が出来ること—それは、経済活動を今まで以上に積極的に行い、被災された皆様方のご負担が少しでも軽減できるよう、社会へ還元していくことではないでしょうか。被災地域の一日も早い復旧復興を祈っております。共に頑張りましょう。

香川県中小企業団体中央会青年部
会長 土居 正明

この度の東日本大震災により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに被災された皆様とご家族に心よりお見舞い申し上げます。

私はこれまでに仕事で福島、宮城、秋田の各県を訪れたことがあります。どちらも風光明媚でお人柄も良く素晴らしいところでした。家内は独身のときに紅葉の岩手を旅したことがあるそうで、それは美しかったと話しております。我が家の定番のお米は山形産です。旬の季節に毎日のようにいただくのは青森のりんごです。遠く離れた南国高知で暮らしていても「東北」は私たちにとって、日本人にとってかけがえのない故郷です。膨大な時間はかかるかもしれませんが、必ずみごとに復興を遂げられると信じております。頑張ってください!! 東北および被災された各県の青年中央会様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

四国ブロック中小企業青年中央会会長
高知県中小企業青年中央会会長
下元 大介

心より大震災被災のお見舞いを申し上げます。

映像で見る被害状況は、想像を絶するものばかりでした。

しかし、海外メディアから絶賛されましたが、被災された方々が忍耐強く、穏やかで秩序を保っている姿に感銘を受け、また、日本人であることを誇りに思いました。

私たち熊本県中小企業団体中央会青年部協議会は、今回の大震災は我が国日本が背負うべき試練の時と考えています。

今こそ、相互扶助の組合精神を発揮し、互いに協力し、明日への希望をもって、この難局を切り抜けましょう。

がんばろう日本！ がんばろう中央会！

熊本県中小企業団体中央会青年部協議会
会長 吉 富 訓 生

東日本大震災により被災された方々に謹んでお見舞いを申し上げます。

被災地の皆さまに、一刻も早い救助と援助、そして復興を心よりお祈り申し上げます。

昨年、宮崎で発生した口蹄疫発生の際には皆様に支援して頂きました事に感謝し、県民皆が復興に向けての支援を誓い合っております。一人で出来る事は本当に少ないけれど、その出来る事を一つ一つやっつけていこうと思います。

穏やかな日々が一日でも早く皆さんに訪れますように一緒に頑張りましょう。

全国中小企業青年中央会副会長
宮崎県中小企業団体中央会青年部会長
上山 泰寛

このたびの震災では、多数の尊い命が失われ、地域産業にも壊滅的な打撃を与えるなど想像を絶する被害がもたらされております。被災された皆様に対しまして、衷心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。皆様は一人ではありません。日本中が復興に向けて何か出来る事をしようと動いています。一人一人、一社一社では力が限られていても、連携し、力を結集することができれば、困難を乗り越える力となります。創造力や機動力を兼ね備えた青年経営者が先頭に立ち、今できることを一つ一つ全力で取り組んでいってください。

我々もできる限りのご支援をさせていただきます。皆様の一日も早い復興を心からお祈りいたします。

鹿児島県中小企業団体中央会
青年部会 会長 山下 猛宏

被災された青年中央会の皆様へ

まず、この度の東日本大震災で犠牲になられた方々へ哀悼の意を表します。

平成23年3月11日午後2時46分この日時は、私達はまた忘れることが出来ない記憶となりました。未曾有の大地震と津波により多くの方が被災され、また多くの方々が犠牲になられ、家族を失い、親族を失い、友を失い、最愛の人を失う、この苦しみは遠く離れた私たちには計り知ることが出来ません。

そこへ追い打ちとばかりに原子力発電所の問題や未だ止まない余震と、被災・避難されておられる方々の心情はいつ安らぐ時があるのかと私たちも心を痛めております。

震災から約2ヶ月今でも悲しみは拭えませんが、残された皆様が前を向いて歩きださなければ復興は始まりません。日本全国だけでなく、世界各地から皆様に応援しています。

遠く沖縄からではありますが、私たちも微力ながら応援しています。

ともに頑張っていきましょう。いま、日本が気持ちをひとつにしていることに希望をもって。

沖縄県中小企業青年中央会
会長 古 堅 優

今、私達に出来る事は何か！ 思いある行動が日本を変える！

今回の大地震におきまして、多くの方がお亡くなりになられたことに対しお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様をはじめ、避難生活を余儀なくされておられます皆様に、心からお見舞いを申し上げます。今回の震災では地震、津波、原発問題、更には各業界にも甚大なダメージを与え、流通、生産の一時停止、風評被害も拍車を掛け、今、日本経済の半分がダウンしています。今こそ私達青年経営者が声を上げ、思いある行動で頑張る時です・・・

気持ちを切らさず、今、何が出来るかを考え冷静な判断と行動で、日本国民が「諦めない気持ち」「自立の精神」を持ち一日も早い復興を目指し全国のメンバーが一丸となり全力を挙げて支援、復興に取り組みしましょう。

被災された皆さんの為に・・・ 未来ある次世代の子供達の為に・・・ 日本の為に・・・

「夢と希望を持って・・・がんばろう日本」

全国中小企業青年中央会
会長 堀井 聖介

共に生きよう

この度の震災で無念にも亡くなられた方々のご冥福を謹んでお祈り申し上げます。非難生活をされている方々、被災地の青年中央会メンバーの方々も大変不自由で心細い毎日だと思います。しかしながら今日本中、世界中の人間が心を痛めながらも被災地を心配し応援をしています。小さな子供から大人まで全ての方がです。

テレビで津波の映像を見ました、大切な物が沢山壊されていくのを見て涙が止まらなくなりました。大勢の方々が亡くなり、悲しくなりました。今節電や募金でしか力になれないもどかしさを感じました。でも今は皆さんに笑顔が戻る事を信じて行動しようと思います。日本人の誇り、真面目で勤勉で頭が良くて努力家で我慢強い、そして世界一美しい国だと思う。『復興』し亡くなられた方々に見せてあげたい。日本人の底力を世界中に発信しましょう、私も最大限の努力と協力をします。

全国中小企業青年中央会 副会長
千葉県中小企業団体青年中央会 監査役
佐久間 厚尚

東日本大震災で被災されました青年中央会（協議会）関係者の皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

今後、全国中小企業青年中央会事務局といたしましては、義援金の募集に加えて、全国の都道府県青年中央会（協議会）の力を結集することで、被災されました青年中央会の皆様の復旧のお役に立てるよう取り組んでいく所存でございます。

11月には、被災地である青森県において組合青年部全国講習会が開催されます。

全青中事務局は、青森県中小企業青年中央会及び東北ブロックの青年中央会（協議会）の皆様と力を合わせて、講習会を成功させるよう全力で取り組んでまいりますので、11月はぜひ青森県にお越し下さいますようお願い申し上げます。

全国中小企業青年中央会
担当事務局 須賀

以上は4月末までにお寄せいただいた応援メッセージです、ありがとう御座いました。

全国青年中央会では4月15日（金）に大阪にて役員会を行いました。今後も義援金の継続的な応募など、被災地への考えられるあらゆる支援を行っていく事を全会一致で「確認」をいたしましたのでご報告いたします。

~~~~~ お知らせ ~~~~~

全青中だよりの製作メンバーが決まりました、ご紹介します。

進藤理事（秋田県）

直江理事（石川県）

安田理事（鳥取県）

矢野理事（大分県）

須賀（担当事務局）

今後5名を加えて1年間頑張って参ります宜しくお願い致します。

各県・ブロックの活動内容や連絡事項などを募集します。また被災地へのメッセージや被災地を巡って来られた方からの報告など頂き、今後の支援の具体的な方法を真剣に考えていく場にもしたいと考えております。皆様の連絡をお待ち申し上げます。

連絡先・・・全国中央会 須賀まで！！